

本部名：高原地区学校支援地域本部

連絡先：高原町教育委員会教育総務課

電話：0984-42-1484

FAX：0984-42-3969

1 実施状況

対象学校	高原町立高原小学校・広原小学校・狭野小学校・後川内小学校・高原中学校・後川内中学校
活動分野	学習支援活動・環境整備・登下校の安全指導・学校行事
【学校支援の取組】 読み聞かせ（通年）社会科学習（5月）登下校の見守り・あいさつ運動（通年）登山支援（9月）行事支援（8月・三世代交流グラウンドゴルフ大会・10月読書まつり）学年レクリエーション活動（8月・2月）環境整備・植栽（通年）	
○地域コーディネーター（ 1 ）人 ○ボランティア登録数（ 195 ）人	

2 特色のある取組の紹介

①「地域住民によるあいさつ運動」

【ここがイチオシ・本部自慢！】
・地区住民によるあいさつ運動の展開

○ 活動内容

- ・町内小中学生による子ども会議の「にこにこあいさつ運動」の提案を受け、毎月②のつく日に各学校の校門前にボランティアが集合。「あいさつ運動」ののぼり旗を子ども達やボランティアが持ち、子ども達と元気なあいさつを交し合っている。



【あいさつ運動】

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- ・子どもと触れ合う機会が増え、学校へ足を運ぶのが楽しくなった。学校の先生方に親しみを感じている。子ども達の元気なあいさつから元気をもらっている。（ボランティア）
- ・あいさつの声が小さくて困っていたけど、自分も元気のよいあいさつをがんばろうと決心しました。あいさつを交わすことで元気と勇気がわいてきます。（子ども）
- ・子ども達から「いつもありがとうございます」の感謝の文集が届く。（コーディネーター）

②「地域の先生による高原町歴史めぐり（ふるさと学習）」

【ここがイチオシ・本部自慢！】
・町内4小学校間の「小小連携授業」社会科学習支援「高原町の歴史を巡る」

○ 活動内容

- ・小小連携授業・社会科ふるさと学習の時間に、町の文化財調査委員の皆さんがボランティアとして講師を担当。町内の由緒ある歴史、文化財について学ぶ。
町の歴史文化を現地で学ぶことにより子ども達がふるさとの歴史文化財に親しみ、興味関心を育むきっかけづくりとなった。また、郷土を愛する心を養う一助となった。



【小小連携事業
「ふるさと学習」】

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- ・教室を離れ、現地で歴史・文化財に精通した文化財調査委員方の協力により地域学習をすることができた。事前調査、案内看板・資料準備など当日の子ども達の学習に入念な配慮をいただき感謝している。子ども達は、身近な地域の方からの授業は教室で受ける授業とは異なり新鮮な印象を持ったようである。（教職員）
- ・高原町の歴史・文化財について知ることができた。楽しく勉強できた。（子ども）
- ・ケーブルテレビによる放映により広く住民にも活動の様子をPRできた。（コーディネーター）